



# 妙高市議会だより

No.70

(令和4年6月定例会号)

～多様性がつながるまちづくり～



ちまき・山菜を使った節句御膳（関山宝蔵院で供された食の文化を研究する会より提供）

## 【主な内容】

- 常任委員会管内調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3ページ
- 常任委員会で議案をじっくり審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～5ページ
- ここが聞きたい！一般質問、議会報告会・意見交換会・・・・・・・・・・ 6～13ページ
- 5月臨時会、6月定例会で審議された議案と審議結果・・・・・・・・・・ 14ページ
- 令和3年度政務活動費報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15ページ
- 議員表彰、市内小学生議場見学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16ページ

# 常任委員会管内調査を実施しました

## 総務委員会〈7月20日(水)〉

内 容	視察地
●上越地域消防局（上越消防署）の指令システムおよび消防車両について	上越市藤野新田
●災害備蓄品（総合体育館、さくらこども園）の状況について	白山町・小出雲
●〔仮称〕移動市役所号の整備内容について	委員会室
●7月1日オープンしたテレワーク研修交流施設について	池の平



左上から「消防車両」、  
「災害備蓄品」、「移動市  
役所号」、「テレワーク研  
修交流施設」

## 厚生文教委員会〈7月6日(水)〉

内 容	視察地
●イエナプラン教育の導入について	委員会室
●妙高高原北小学校校舎前駐車場拡張工事について	田切
●G I G Aスクールの取り組み状況について（妙高高原北小学校授業見学）	田切
●豪雪で被害にあった新潟県妙高高原赤倉シャンツェの状況について	関山
●関川関所・道の歴史館の運営状況について	関川
●妙高市シルバー人材センターが運営するシルバーショップなごみについて	朝日町
●ほっと妙高ワークセンター軽食喫茶クリエ及び妙高市社会福祉協議会の旧スーパーサンライズ跡への移転・施設改修について	朝日町





左上から「GIGAスクール」、「障がい福祉サービス事業所等移転先の旧スーパーサンライズ跡」、「妙高高原赤倉シャングヱ」、「関川関所・道の歴史館」



産業経済委員会〈7月5日(火)〉

内 容	視察地
●道の駅あらい（四季彩館みょうこう）改修状況について	長森
●水管橋（白妙橋）下部工・上部工および池の平浄化センター流量調整槽増設工事について	赤倉池の平
●妙高高原ビジターセンターの運営状況について	池の平
●いもり池周辺遊歩道新設工事について	池の平
●笹ヶ峰キャンプ場グランピングの整備状況について	笹ヶ峰
●六次産業化推進事業（ワイン用ブドウ圃場）について	坂口新田
●上中地区新井用水頭首工災害復旧の状況について	上中
●陣場霊園内での合葬墓・納骨堂建設工事について	小出雲



左上から「浄化センター流量調整槽増設工事」、「遊歩道新設工事」、「笹ヶ峰キャンプ場」、「ブドウ圃場」、「上中地区新井用水頭首工災害復旧」

# 常任委員会で 議案をじっくり審査

＜付託案件の主な質疑＞

## 【総務委員会】

■議案第38号 新潟県妙高市市税条例等の一部を改正する条例議定について

問 市民税の影響額と対象戸数はどのようか。

市民税課長 令和2年分の確定申告で令和3年度の市民税控除額について、新しく家を建てたり、購入した新規対象は59件、控除額が279万3000円である。住宅ローンは減税は原則10年間控除が受けられ、令和3年度の延べ適用人数は583人で、全体の控除額は、2277万円である。

■議案第39号 妙高市妙高コミュニティセンター条例議定について

問 改修後2階の図書室は、支所機能と切り離れた運営となるのか。人的配置等はどのように考えているか。

妙高支所長 2階には職員は常駐せず、引き続き、1階の支所窓口で図書の貸し出し、返却、登録等の業務を行う。

■議案第47号 指定管理者の指定について(妙高市テレワーク研修交流施設)

問 施設利用について、妙高ツーリズムマネジメントほどの方面に声がけする予定か。

企画政策課長 JALや首都圏のIT事業者とネットワークを持っており、それらからの送り出しを予定していると聞いている。

問 ワークションは妙高市の1つの目玉である。今の妙高ツーリズムマネジメントのスタッフ体制でテレワーク研修交流施設の運営管理ができるか。

企画政策課長 観光振興や、ワークション等に実績があり、維持管理は従来の延長拡大にあたる。12名のメンバー

のほか、地域アドバイザーなど外部人材も活用することとで、期待している。

■議案第49号 令和4年度新潟県妙高市一般会計補正予算(第3号)

問 令和3年度の繰越金について、全体の予想額はどのようない見込みか。

財務課長 市税収入は、当初コロナ禍の減収を想定していたが、前年並みの税収が確保できた。また、地方交付税は、普通交付税の追加配分等があったことから、一般財源が増額になる。その他豪雪による除排雪経費に国・県の財源を活用できたことなどの特殊事情等もあり、令和3年度の繰越金は、例年を上回る繰越額になる見込みである。

■議案第41号 妙高市保健センター条例の一部を改正する条例議定について

問 施設の改修について、現在の進捗状況と供用開始はいつか。

健康保険課長 12月に供用開始予定である。

問 妙高保健センターの貸し館時間はどのようか。また、貸し館申し込みの受付時間はどのようか。

健康保険課長 貸し館は、8時半から22時までで、土曜日、日曜日、休日も利用可能である。60日前より受付が可能で、受付時間は平日の8時半から17時15分である。土日・祝日の申請は、宿日直が申請書を預かる対応となる。

■議案第43号 妙高市立学校設置条例等の一部を改正する条例議定について

問 統合後、放課後児童クラブの利用人数が増え、支障はないか。

こども教育課長 一つの教室で60人を超えると手狭になるため、隣の空き教室の利用を考えている。

問 妙高高原南小学校の閉校後の構想はあるか。

こども教育課長 体育館と校舎の一部が避難所に指定されている。体育館は、今後も避難所として使用する。校舎は、老朽化もあり、取り壊しも含めて考えていく。

■議案第49号 令和4年度新潟県妙高市一般会計補正予算(第3号)

問 障がい福祉サービス事業等移転事業

問 旧スーパーサンライズ跡へ移転後、利用者の駐車場はどこか。

副市長 第四北越銀行の裏の駐車場や元第四銀行跡地の一部利用も検討している。来年に向けて検討していきたい。

○地域医療体制確保事業

問 医師養成修学資金貸与制度について、地元で就労しなかつた場合の返却条件はどのようか。

健康保険課長 貸与した期間の1.5倍従事すれば、返金はなくなるかと定めている。

問 専門医としていろいろな科があるが、この制度を利用するのに特定の専門医でなければならぬのか。

健康保険課長 特に充実を必要としている内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科での従事を希望されるかたを要件としている。



【産業経済委員会】

問 医師養成修学資金貸与制度の利用があったことをアピールし、次につなげることが大事である。考えはどのようか。

健康保険課長

令和2年度に創設し、大学や県内高校へ周知活動に努め、2年目によりやく1名の応募があった。県内外からの問い合わせが増えてきており、引き続き周知活動に努め、マスコミ等にも制度の周知をお願いする。

○新型コロナウイルスワクチン接種事業

問 副反応により4回目の接種は見合わせたいという声もある。4回目の接種率が下がる可能性も考えられるが、効果と安全性を含めてどのように考えているか。

健康保険課長

4回目の接種は、感染予防ではなく、重症化予防を目的としている。子どもの接種は、親御さんも悩まれている。周りにいる大人が接種を進め、予防効果を高めていきたいと考えている。

議案第45号 不動産の取得について（ロータリ除雪車）

問 購入理由は、古くなって更新するのか、除雪のレベルを上げるためか。

建設課長

現在の機械が、平成8年式で25年経過し、経年劣化等が著しいため、新たに更新するものである。

問 修理と更新の判断基準はどのようか。

建設課長

耐用年数は20年以上、稼働時間は2000時間以上のものを更新の目安としている。

問 保有台数はどのようか。

建設課長

市の直営が4台、除雪業者への貸与が15台の計19台である。

議案第46号 不動産の取得について（除雪ドーザー）

問 オペレーターの高齢化や技術者不足の中、管理する路線も多い。除雪レベルを維持して市民の安全安心のための考えはどのようか。

副市長

人材の確保は、大きな課題であり、妙高市のみならず、豪雪地帯全体の課題と

認識している。妙高市は他市にはない直営班を持っており、夏は自営業や農業を行い、冬は除雪を行うかたを8人雇用している。これからは各事業所へ、そういう人材を確保するお願いも1つの方法と考えている。そのほか建設業者自体が人材不足であり、そこを

充足していく方法があると思う。また、IT技術を活用する中で、オペレーター2人体制を機械化によって、1人体制にできるのかどうか、安全上の問題があり、十分研究する必要はあるが、可能であれば取り入れていくものとし、全体の除雪レベルを維持していく考えである。

問 資源ごみを持ち去った場合、窃盗罪にならないか。

環境生活課長

資源物をごみ集積所に出した時点で、持ち主がなくなる無主物となり、窃盗罪が適用されない。持ち去ったわけではないと条例に規定し、違反したものに罰則をかけることとした。

問 資源ごみを持ち去られない対策は考えているか。

環境生活課長

資源物を出すときはその日の朝を基本として周知していく。今回の持ち去りは県外の方が、朝出されたものを目の前で持っていくことから、集積所の管理者から市や警察に通報するよう周知していきたい。

議案第44号 妙高市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例議定について

問 資源ごみの持ち去りの対応措置としての条例改正と思うがどのようか。

環境生活課長

持ち去りした場合、資源物の循環の構造を壊すことから、資源物の持ち去りを禁止し、罰則を盛り込むものである。

議案第49号 令和4年度新潟県妙高市一般会計補正予算（第3号）

問 観光誘客推進事業 ○観光誘客推進事業

観光商工課長

テレビコマースシャルの費用は、お正月の2

日間で30秒CMを2回流すと、数千円以上という話を伺った。インターネットの掲載は、正月のテレビCMの1秒間当たりの費用は、4万7千円と試算されている。その後のニュース番組やバラエティ番組への出演によりプラスアルファの価値があると、試算されているようである。市においては、ホームページへのアクセス数が、昨年の正月の間は400倍近いアクセスをいただいた。

問 地方自治体が、1校の大学だけに、3度目の広告契約に違和感がある。市の考えはどのようか。

観光商工課長

今年も5月2日に、青山学院大学陸上競技部から報告に来ていただいたときに、原監督から、「今年も市民の皆さんのお許しを得られるならば、妙高市の名前をつけて走りたい。」という申し出をいただいた。合宿の誘致のために特定のチームを応援するつもりは全くなく、あくまでも、プロモーションとして、何が一番いいかを考えた事業だと認識している。

問 資源ごみを持ち去らねない対策は考えているか。

環境生活課長

資源物を出すときはその日の朝を基本として周知していく。今回の持ち去りは県外の方が、朝出されたものを目の前で持っていくことから、集積所の管理者から市や警察に通報するよう周知していきたい。

議案第49号 令和4年度新潟県妙高市一般会計補正予算（第3号）

問 観光誘客推進事業 ○観光誘客推進事業

観光商工課長

テレビコマースシャルの費用は、お正月の2

日間で30秒CMを2回流すと、数千円以上という話を伺った。インターネットの掲載は、正月のテレビCMの1秒間当たりの費用は、4万7千円と試算されている。その後のニュース番組やバラエティ番組への出演によりプラスアルファの価値があると、試算されているようである。市においては、ホームページへのアクセス数が、昨年の正月の間は400倍近いアクセスをいただいた。

問 地方自治体が、1校の大学だけに、3度目の広告契約に違和感がある。市の考えはどのようか。

観光商工課長

今年も5月2日に、青山学院大学陸上競技部から報告に来ていただいたときに、原監督から、「今年も市民の皆さんのお許しを得られるならば、妙高市の名前をつけて走りたい。」という申し出をいただいた。合宿の誘致のために特定のチームを応援するつもりは全くなく、あくまでも、プロモーションとして、何が一番いいかを考えた事業だと認識している。

# 市政のここが聞きたい!

# 一般質問

議員が市の将来や方針、施策等について質問をすることです。  
6月9日、10日に議員14人による一般質問が行われました。

※見出し、質問部分は質問者本人が執筆したものを編集しました。



**原油価格・物価高騰に  
対する取り組み**  
天野京子 議員



**問** 「みんなの応援券事業」以外の交付金活用の具体的な考えはあるか。また、給食食材費への支援が必要と考えるのがいかなうか。

**市長** 5月臨時会で、市独自の対策を講じた。引き続き地域経済情勢などを注視し有効活用したい。

## 子どもの眼の成長を守る取り組み

**問** 小中学校の視力検査の結果と視力低下への防止策はどのようか。

**教育長** 本や端末機器に目を近づけ過ぎないように指導し、端末機器の使用時間制限などをお願いするとともに、ブルーライトカットのシールを貼る準備を進めている。

**問** 視覚の発達異常に屈折検査を導るため3歳児健診に屈折検査を導入してはどうか。

**市長** 小児科や眼科の専門医と協議を進めてきた。検査精度や専門人材の確保、検査環境の整備など課題があり、さらに検討を進めていく。

## 自転車の安全と適正利用について

**問** 自転車の交通ルールやヘルメット着用等の市民への一貫した啓発の考えはどのようか。

**市長** 保育園、認定こども園や学校のほか、子ども会や老人会などの交通安全教室で説明している。

**問** 10月1日から自転車損害賠償責任保険等の加入が義務化となる。周知の進め方はどのようか。

**市長** 交通安全教室で周知し、市報にも掲載している。

**問** 自転車通学を許可する生徒への保険加入の対応はどうか。

**子ども教育課長** 一部の学校では確認し許可している。ほかの学校も保護者に周知しており、今後確認を行う。

## 児童虐待の予防発見対応について

**問** 厚生労働省推薦映画「1809」を活用する考えはどうか。

**教育長** 虐待についての出前講座、広報紙やホームページで相談や通告窓口を紹介し、子どもを見守る環境づくりを進めている。映画「1809」の活用は考えていない。



太田 紀己代 議員

# 医療的ケア児・出産 育児の助成について



## 医療的ケア児について

**問** 医療的ケア児を受け入れるサービス施設の設置に対する考えはどのようか。

**市長** 令和5年度策定予定の第5期障がい者福祉計画の中で検討を進めていく。

**問** 医療的ケア児の家族への相談対応としてワンストップサービス窓口を確保してはどうか。

**市長** 内容に応じて関係課で情報共有を図りながら、ワンストップが必要な支援につなげている。

**問** 医療的ケア児を学校等に配置する考えはどのようか。

**教育長** 今後就学が見込まれる場合は必要に応じて医療従事者の配置を検討していく。

**問** 医療的ケア児の通院費及び衛生用品等の助成を行ってはどうか。

**市長** 経済的な支援として障がい児福祉手当や特別児童扶養手当のほか、補装具の支給などを行っている。通院費や衛生用品の購入に関する助成は、第5期障がい者福祉計画の策定時に検討していく。

## 乳児の紙おむつ助成について

**問** 出生後1年間、月額5千円の助成を行ってはどうか。

**市長** これまで子ども医療費助成をはじめ、第3子以降出産費用の助成など、子育て世代の経済的負担の軽減を図ってきた。加えて、本年10月から妊産婦医療費助成の対象者拡大も予定している。今後は、妊産婦が安心して出産、育児ができるよう、専門職による育児相談や訪問など、産後ケアの充実にも努めていく。

## 妊婦の宿泊費の助成について

**問** 出産前準備のための宿泊助成についての考えはどのようか。

**市長** 妊婦のかたは、出産前精神的に安定が必要のため、直前まで家族と過ごすことが重要であると考えている。降雪時や緊急時には出産サポートタクシーで安心して産院に行けるよう支援体制を整えているので、現時点では宿泊費の助成は考えていない。

## オーラルフレイルの予防・改善



植木 茂 議員

# オーラルフレイルと ユマニチュード技法



どの支援につなげていく。

## ユマニチュード技法の普及・啓発

**問** 国では高齢者の介護予防と保健事業の一体的実施を各自自治体に促し、高齢者の特性を踏まえたフレイル予防を強化しているが、オーラルフレイル対策の実態や介護と医療との連携、一体的な取り組みとして、誤嚥性肺炎の予防に有効な口腔内清掃を強化する必要があると考えるが市の考えはどのようか。

**市長** 高齢者への健康調査の結果を踏まえた訪問指導や、介護予防サービス計画の作成の際に口腔ケアが必要な方に対し、機能改善の指導を行っている。また、上越歯科医師会と連携し、歯科衛生士によるお口の健康講座や介護予防拠点施設でのオーラルフレイル予防講座を実施するなど、普及啓発に取り組んでいる。誤嚥性肺炎の予防のため、日頃からオーラルフレイル予防の啓発を積極的に進めるとともに、上越歯科医師会や介護支援専門員との連携の下、要介護状態の方で支援が必要な場合、訪問歯科診療や訪問口腔ケア指導な

**問** 見る、話す、触れる、立つの4つのケアを柱としたユマニチュード技法は、寝たきりになることを遅らせることができ、徘徊や暴言、暴力などの問題行動の減少などにも効果があり、家族だけでなく介護職員の負担軽減にもつながるユマニチュード技法の普及・啓発の取り組みの考えはどのようか。

**市長** ユマニチュード技法は、人間らしさを取り戻すため、人間本来の特性に働きかけるケア技術の一つである。市では、認知症サポーター養成講座において、認知症の本人を尊重する考え方や、対応方法について学ぶことや、市内介護事業者が参加するケアフォーラムにおいて、認知症を持つ人の視点からケアを考えるパーソン・セントアード・ケアの取り組みを進めている。本人を尊重するという基本的な考え方は介護共通のものと認識しており、今後とも認知症の人本位のケアに取り組んでいく。

常任委員会管内調査

常任委員会にて議案をじっくり審査

「ここが聞きたい!」一般質問

令和3年度政務活動費報告





## 外国人移住者に関する 対応について

八木 清美 議員



**問** 先般開催された議会報告会・意見交換会での意見の一つとして発言があった、外国人移住者に関して、ごみ問題、騒音問題等の苦情や相談はどの程度受けているか。

**市長** ごみの出し方に関し、過去に数件の情報が寄せられたが、外国語版のごみ出しカレンダー、外国人生活ガイドブックの配布により現在は無い。騒音に関する苦情や相談は聞いていない。

**問** ごみの出し方について、外国人にもわかるように絵や図を大きく表記し、集積所に掲示する工夫も必要だが考えはいかがか。

**市長** ごみ集積所は、各地域で管理している。外国人が居住する地域では英語表記等を行っている事例もある。引き続きルールの周知徹底を図っていく。

**問** 外国人移住者が相談しやすい場が必要である。現状と対策はどのようなか。

**市長** 生活で必要な行政手続やマナーなどを英語と日本語を併記した外国人生活ガイドブックとしてまとめ、市ホームページに掲載するとともに、市役所及び支所の窓

口で提供している。また、公益社団法人上越国際交流協会に通訳を含む生活全般の相談業務を委託することで、生活の不安を解消するとともに、市内で開催する日本語教室を案内するなど、ニーズに合わせた対応に努めている。今後も、相談窓口の周知、活用により転入される外国人の皆様をサポートしていきたい。

### これからの子ども食堂の活動について

**問** 新井南部地域で活動している子ども食堂の主體的な取り組みをどのように評価しているか。また、活動の継続には多くの協力者と支援の輪が必要であるとともに、行政の運営支援の拡充が欠かせない。市の考えはどのようなか。

**教育長** 当市の子育て支援において重要な活動であると高く評価している。子ども食堂の活動は、個人や企業などからの寄附金による支援を受けており、市としてもフードシェアリングや制服などのリユースの取り組みに対して積極的に支援を行いたい。



## 少子化対策と 生産年齢人口の増加対策

岩崎 芳昭 議員



### 生産年齢人口を増やす取り組みは

**問** 生産年齢人口が減少し続ける、超高齢化に拍車をかけ、人手不足、税収減少や購買力の落ち込み、社会保障費増大などが生じる恐れがあり、実効性の高い対策が必要と考えるがどうか。

**市長** テレワーク研修交流施設を拠点とした地域経済の活性化と関係人口の創出拡大に取り組みとともに、若い世代の転入増加を図るため、移住、定住施策の促進にも力を入れ、さらには首都圏企業や外部人材などのスキルを活用した新たなローカルビジネスの創出や地元企業とのビジネスマッチングによる魅力ある産業の育成と雇用の場の確保を進めていく。

**問** 女性が働きやすく、かつ、賃金水準の高い企業等に奨励金を付与するなど、誘導又は誘致していくべきでないか。

**市長** 女性に限らず、若年層にとっても就労の場の確保が喫緊の課題であることから、引き続き企業誘致や自ら雇用を生み出す起業を支援し、仕事と家庭を両立しながら

ら誰もが安心して働くことができる雇用環境づくりを進めていく。

### 公民館活動の担い手充実について

**問** 社会教育・公民館活動の担い手となる職員の確保と充実を図る必要があると考えるがどうか。

**教育長** 知識や経験を有する人材を登録・派遣する地域活動人材制度の充実やネットワークづくりのほか、地域の力を引き出せる人材の発掘・育成に取り組んでいる。

### 地域の歴史文化の継承について

**問** 地域住民を巻き込んで展開することに、地域の歴史文化の共有や担い手育成・継承の課題解決にもつながると考えるがどうか。

**教育長** 現在、地域の皆さんと話し合いながら、地域の歴史文化資源の一覧と活用の方策をまとめた保存活用計画の策定を地域ごとに取り組んでいる。計画策定を通じて地域の誇りや魅力の共有を図りながら、歴史文化資源を生かした地域の活性化に取り組んでいく。





### 中学校部活動・地域移行への課題と支援は

小嶋 正彰 議員

休日部活動の地域移行への対応はどうか

地域防災力を高める防災条例の制定を



**問** 文部科学省スポーツ庁では令和5年度以降、段階的に休日部活動を地域の総合型スポーツクラブ等に移行するとしている。妙高市ではすでに一部の中学校で女子バレーボール、野球、卓球、体操、サッカー等で実施されているが、指導者の確保や各種大会参加に対する保護者負担の増加が懸念される。一層の行政支援と関係団体が「連携・協働・融合」に向け協議していく場が必要でないか。

**教育長** 昨年度より国や県が進めている地域運動部活動推進事業に参加し、新たに妙高市部活動改革検討委員会を設置して、学校、3つの総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会、その他のスポーツ団体等と何回も協議を重ねながらモデル事業を展開してきた。そのような中で確認された活動上の成果や課題を共有し、意見交換を行い、課題等への改善策を考えるなど、次年度以降の活動に向けて準備を進めている。

**問** 新潟県では地域防災力を高める防災基本条例を制定し、4月より施行した。コロナ禍で自主防災組織の運動停滞や災害ボランティアの受け入れ体制強化等の課題も多い。市民の自助、互助・共助と行政の公助を明確にした条例の制定が必要でないか。

**市長** 新潟県が制定した防災基本条例では、県民や市町村等の役割のほか、災害時の行動や平時からの取り組みが定められている。また、市では、自主防災組織の活動及び避難所運営のマニュアル作成や訓練の実施等、県条例に定める防災対策を推進しているところである。以上のことから、市独自の防災に関する基本条例の必要性は高くないと認識している。



### 地域公共交通と森林環境譲与税

阿部 幸夫 議員

地域公共交通の確保は重要課題の一つと考える。えちごトキメ

**問** 地域公共交通の確保は重要課題の一つと考える。えちごトキメき鉄道株式会社では、沿線市の人口減少やコロナ禍による旅客収入の減により経営に苦慮しており、運賃の値上げは高齢者や通勤・通学者に負担となっている。市は鉄道における持続可能な地域公共交通ビジョンについて、どのように考えているか。

**市長** えちごトキメき鉄道は、通勤、通学、通院など市民生活に欠かせない地域の移動手段として重要な役割を担っているほか、地域間を結ぶ社会インフラであると同時に、長野県や北陸、さらには関西圏をも結ぶ広域観光ルートを形成する重要な使命を担っている。このことから、引き続き中期経営計画に示された「安全、安心な運行」、「利便性の向上」、「将来にわたって存続する鉄道」等を目指し、再生協議会等で議論を深めていく。

都会に住む子どもにも妙高の森林体験を

**問** 森林経営管理制度の導入に合わせて令和元年度から森林環境譲



与税として市町村及び都道府県に譲与されている。譲与額は市町村や都道府県の私有林人工林面積、林業就業者数、人口により按分され、森林の間伐や人材育成、木材利用の促進等森林整備及び利用促進に関する費用に充てることができ、都会に住む子どもたちが地方で森林体験をするための費用にも活用が見込める。森林の少ない都会や国内の姉妹都市・友好都市等の小中学生を対象に、当市で森林教室を体験する取り組みはどうか。

**市長** 森林学習は、現在市内の小学校を対象に、みどりの環境学習として、地球温暖化や妙高の自然環境、生活環境を題材に講義や林業体験等に取り組んでいる。都市部の子どものための受け入れは、講師や活動フィールド、安全性の確保等の体制整備とともに、妙高を選んでいただける魅力あるプログラムの構築が課題となる。環境学習や森林環境への意識醸成とともに、SDGsの視点からも大切な取り組みであると考えているので、交流人口の拡大に向けて関係団体と協議していきたい。



## 高齢者に公共施設 利用割引、買い物割引を

横尾 祐子 議員



**問** 高齢者の皆さんには、いつまでもハツラツとお元気でいていただきたい。コロナ禍に入ってから、感染を恐れて必要以上に外出を避け、毎日家にいることで、うつ病や不安障害などの発症につながりやすい。当市には体育館、トレーニング施設、プールなど公共施設がある。希望する高齢者に公共施設利用の割引や買い物の割引などのパスポートを発行し、健康維持・生きがいのある充実した生活の支援が必要と考えるがどうか。

**市長** コロナ禍により高齢者の外出機会が低下してきた中で、健康維持や生きがいづくり、地域とのつながりの再構築は重要な課題と認識している。このため、市では市民講座や出前講座の開催、地域の茶の間の再開を積極的に支援しているところである。公共施設の利用割引や買物支援に係るパスポートは、マイナンバーカードの活用も検討する中で、様々な取り組み事例を参考に、当市における効果を含め研究していきたい。

## 障がいのある生徒の進路について

**問** 総合支援学校の高等部の人数は、増加傾向にある。卒業後の進路が保護者も先生も心配と聞く。妙高市内の就労施設もいっぱい心配は尽きない。今後についての考えはどうか。

**教育長** 総合支援学校高等部の生徒数が増加傾向にあることや、市内事業所での受入れに限界があるため、市内だけで就労先を見つけることが難しくなっているという状況は承知している。このことから、高等部における進路相談には市の福祉介護課の担当者も加わり、個々の特性に合わせた職場等の調整を行うなど、生徒の適性等を十分に見極め、就労体験や現場実習、そして最終的な進路決定に結びつけるようにしている。



総合支援学校



## 妙高市の 租税教育について

宮崎 淳一 議員



**問** 令和4年4月から成人年齢が18歳に引き下げられ、子どもの社会進出にあたり、金融教育・主権者教育と共に租税教育は重要と考えるが、当市における教育現場の租税教育の実態はどうか。

**市長** 学習指導要領に基づき、各学校で社会科に位置づけ、妙高市租税教育推進協議会では、高田税務署や県等の関係団体と連携し、小学6年生に税金のはたらき、中学3年生に納税について及び税金の行方と国の借金というテーマに沿った出前授業を実施している。税に関する作文、標語の募集と表彰などを通じて税金の仕組みや制度、財政との関係などへの理解を深めている。

## 妙高市都市計画マスタープランについて

**問** 中心市街地では、今後の動向を踏まえた取り組みについて、都市核として再構築を図るとあるが、具体的な取り組みはどうか。

**市長** 新井駅周辺の市街地は、福祉、子育て支援、商業などの都市機能を誘導する区域に位置づけ、新井あおぞら保育園を整備するとともに、新図書館等複合施設の整備を現在進めている。

**問** 自然環境・景観の保全、活用そして洪水などの自然災害に備えた防災対策の強化とあるが、具体的な取り組みはどうか。

**市長** 国や県主体による河川改修や砂防堰堤の整備などが進められ、市では洪水ハザードマップを整備し、防災行政無線など防災システムを整備して災害に強い安全なまちづくりを進めてきた。

**問** 都市計画道路について、今後の取り組みはどうか。

**市長** 石塚加茂線は、中心市街地へのアクセスや防災面での機能強化が期待される路線である。今後も県と協力しながら整備を進めていく。

**問** 出前講座等の実施により、子どもたちが租税に対してどのような学び、理解することを望むか。

**市長** 身近な生活と税の関わり、税の負担者としての自覚、税の使い道などを学び、税に関する理解と関心を高め、持続可能な地域の発展について主体的に考え、実践していく心を育んでほしいと考えている。





堀川 義徳 議員

## こども園や小学校 統一体操着について



**問** 現在、各園や小学校毎に指定されている体操着を統一することで、転園や転校をしても、新たに購入しないで利用できる他、地域が異なる方へも再利用できることなど、メリットも多いことから将来的に統一する考えはあるか。

**教育長** こども園や小学校の体操服のデザインや色などの選定については、園、学校が保護者会やPTA等と相談をし、児童・生徒の意見も聞きながら、園、学校ごとに決定、採用している。体操服を統一するメリットも理解するが、従来より市が決めていたものではないことから、統一することは難しいと考えている。

## 投票率向上について

**問** 民意を反映する選挙は重要であるが、その投票率は全体的に低調である。妙高市では、移動投票所など先進的な取り組みを行った結果、市民にも好評であった。しかし、期日前投票所の開設期間が地域によって異なり、その周知方法も徹底されていなかった感がある。

る。今後、移動投票所を増やす方が投票率向上につながると思われるがその考えはあるか。

**選挙管理委員会書記長**

支所における期日前投票所の開設期間等は、これまでの日、時間帯ごとの投票所の実績や近隣市の動向などを勘案し、選挙管理委員会において短縮を決定した。変更点は、市報、ホームページ、入場券等への掲載や防災行政無線を活用した周知を行ったが、一部において十分に伝わっていないことがあったので、次回の選挙では対象区域に文書回覧するなど、さらに細やかな周知に努めていきたい。また、臨時期日前投票所は、7月執行の参議院議員通常選挙でも試行的に開設したいと考えており、車両を使用した移動期日前投票所の運用に向けて、開設場所や時間、体制などの検証を進め、投票環境の向上に努めていきたい。



霜鳥 榮之 議員

## 地域医療構想 今後の対応は



## 公立病院経営強化ガイドラインの実態は

**問** 厚労省は新・公立病院改革ガイドラインと地域医療構想を整合させながら公立病院の整理・淘汰を求めて来た。妙高病院存続に対する今後の保障はどのようなか。

**市長** 県立病院が果たすべき役割や経営に関する考え方など、県が策定するプランの内容を注視し、上越地域医療構想調整会議では、市民が安心して医療が受けられる地域医療体制が維持されるように、引き続き訴えていく。

## 新型コロナウイルス感染症対策今後の対応は

**問** 新型コロナウイルス感染症は一定の落ち着きが見えているが、これまでの教訓と共に今後の対応等についての指針が必要だ。特には高齢者対応や保育園・学校対応。国の動向も変わってきているインバウンド対応等、考えはどのようなか。

**市長** 高齢者の交流の場である地域の茶の間は、地域や介護予防サポーターとの連携を密にし、ウィズコロナに対応した開催の工夫に

より交流の機会の再興を図りたい。インバウンドは、感染症対策の妙高モデルについて、国が示したガイドラインを踏まえ見直しを行う。**教育長** 園児のマスク着用を一律には求めず、基本的な感染対策を徹底している。学校では屋内の授業はマスクを着用し、体育の授業は、運動中は外し、指示等を受けられる場合には着用する。今後も国や県の通知に沿って教育活動を継続していく。

## 臨時期日前投票所開設について

**問** 臨時期日前投票所開設の経緯と、今後の対応策はどのようなか。

**選挙管理委員会書記長** 遠距離にある地区の投票環境の向上を目的に試行的に開設した。水原地区3集落を選定した理由は、期日前投票率が低く、かつ複数地区で投票区を構成し、地区集会所を有していたことから選定した。今後の対応は、7月の選挙は県知事選挙と同様とし、新しい車両が納車後の選挙から移動期日前投票所の開設を予定している。



高田 保則 議員

## 頸城山塊ライチョウ生息地 調査結果について



**問** 頸城山塊ライチョウ生息地実態調査において、越冬地域の把握はできたのか。春山登山やスキーの規制はどのようか。

**市長** 三田原山及び笹ヶ峰において、昨年度、冬期間のライチョウ生息調査を実施したが、個体の確認には至らなかった。今年度も引き続き調査を実施し、環境省などの専門家と連携しながら実態を把握した上で、規制の必要性等を検討していく。

**問** ライチョウの生息環境・食餌環境に大きな影響を及ぼす二ホンジカ対策はどのようか。

**市長** 高山帯の二ホンジカによる顕著な被害は確認されていないが、個体の確認数は年々増加している。近年、里山での二ホンジカの出没数も増加傾向にあり、里山から高山帯への移動も考えられることから、引き続き鳥獣対策専門員と鳥獣被害対策実施隊による捕獲の強化とともに、森林管理署とも連携し、実態把握と個体数調査に努めていく。

**問** ライチョウの越冬方法が不明な現況のなかで、ホワイトシース

ンの笹ヶ峰高原のマーケティングはどのようか。

**市長** 笹ヶ峰地区で雪上レクリエーションなどを楽しむ方がいることは承知しているが、実態は把握していない。今回の生息地実態調査ではライチョウの個体などが確認されていないため、雪上レクリエーションがライチョウに及ぼす影響は未知数であるが、今後の調査結果次第では実態把握していく必要があると考えている。

**問** 笹ヶ峰高原の雄大な自然を満喫し、好印象をいただくには、気象情報を提供することが重要と考えるが来訪者に情報伝達する手段はどのようか。

**市長** 笹ヶ峰高原の気象情報はインターネット上で複数のサイトが公開しており、手軽に情報を取得できることから、観光客等に広く周知していく。インターネットを利用されていない方には、宿泊施設や観光案内所等から情報提供していただけるよう要請していく。



宮澤 一照 議員

## 新図書館等複合施設 整備事業を延期すべき



経済環境の安定が先

**問** 物価高騰に歯止めがかからない。経済環境が安定するまで新図書館等複合施設の建設を延期すべきではないか。

**教育長** コロナ禍の影響や建設物価急騰、資材の供給に時間を要し、工事着手を令和5年度以降に延期した。建設物価や経済動向等に注視し、工事着手の時期を決定する。

未来都市と過疎対策の具体的な考えは

**問** SDGs 未来都市の政策と人口減少対策、過疎対策の結び付けについて、取り組み、財源、考えはどのようか。

**市長** 福祉介護政策では、介護予防の推進や助け合いの仕組みづくり、障がい者への理解促進や就労支援、生活困窮者等の自立支援、観光政策では、地域経済の活性化、雇用創出と地域産業の育成による移住・定住者の拡大、農業政策では、スマート技術の推進、脱炭素化・環境負荷軽減等の取り組みを生産者とともに進める。財源は、地方

創生やSDGs推進に係る交付金、過疎対策事業債などの活用と妙高山麓ゆめ基金などの有効活用を図る。SDGs 未来都市へは、市民参画による推進体制を整え、自然環境を守りながら、経済と社会との相乗効果を生み出し、持続可能なまちの実現を目指す。

**教育長** 今年度は、児童・生徒の発達段階に応じたSDGsに係る探究学習を生活科や総合的な学習で実施し、ESD<sup>\*</sup>を推進する。

外部指導員への独自支援へ

**問** アスリートに対し、外部指導員やセカンドキャリアとして、市が独自支援することで、引退後も定住して活躍できるがいかかか。

**教育長** 部活動指導員は、ガイドラインに活動内容や報酬などを記載している。アスリートのセカンドキャリアは、スポーツ庁や日本オリンピック委員会をはじめ、県も支援事業を展開している。市も国や県の取り組みの活用促進に努め、スポーツ環境の整備に努めていく。

※ESD: SDGsの目標の実現に寄与する持続可能な開発のための教育





# 市政運営における 公約の進捗について

渡部 道宏 議員

公約は果たすことができたのか？

**問** 今年11月に5期目の任期が満了となる市長は、市政運営において公約を果たすことができたか。また、現在の取り組み状況はどのようなか。

**市長** 未来を見据えた次世代の妙高市をつくり上げるため取り組んできた結果、妙高高原ビジターセンターの改築をはじめ、ライチョウ保護活動の拡大や、学校給食における主食の無償化、さらには政策誘導による移住者の増加などで、成果に結びついた政策がある一方で、予期せぬコロナ禍の現下の情勢では、感染症対策や地域経済の回復を最優先したところである。引き続き、公約を前に進めるべく最善を尽くしていく。

具体的には令和2年度から、ひばり園に療育を専門とする施設長を配置し、発達支援事業の管理体制の充実を図るとともに、適正な就学先を判断するため、令和4年度から新たに心理検査士を配置して、年長児を対象に就学支援を行っている。



中心市街地の活性化に向けては、サンライズ跡にスーパードラッグを誘致したほか、平成29年度にがんばる企業応援補助金、令和元年度には店舗リフォーム支援補助金を創設するなど事業所支援の充実を図っている。

また、新たな六次産業化の推進では、ブドウ栽培の支援により収穫量の拡大を図っている。

地域医療の維持では、けいなん総合病院の安定化のための補助金の拡充、寄附講座を通じた医師の確保や発熱外来を新設したほか、空いている診療所に開業医を誘致した。



## 議会報告会・意見交換会を開催しました!

5月17日、新井総合コミュニティセンターで議会報告会・意見交換会を開催しました。最初に、3月定例会と5月臨時会の内容について報告し、参加者の皆さんと意見交換を行いました。意見交換会では18のご意見等をいただきました。

いただいたすべてのご意見等と当日の議員の回答、その後の対応状況等は、市議会のホームページからご覧いただけます。

### 市民からの意見

あらいまつりも中止のような考えを持っていると聞き、イベントとしてできる状況を考えてもらいたい。あらいまつりを開催すれば、街なかの活性化し、心の潤いができる。



**問** 議員定数と報酬の特別委員会があるが、定数についてどのような状況か。

**答** 令和4年2月発行の議会だよりで、市民アンケートを行った。1万2000件アンケートを配布し、69件、0.59%の回答があった。6月定例会初日に委員会の中間報告を行う。定数を変更することになれば、令和5年3月に条例改正を行い、令和5年7月の市議会議員選挙の予定となる。

## 【審議された議案と審議結果】

下記議案は全員賛成承認・可決されました

### 【令和4年5月臨時会】

議案番号	議案名
報告 (専決処分)	第5号 市税条例及び都市計画税条例の一部改正
	第6号 国民健康保険税条例の一部改正
	第7号 ガス事業清算特別会計補正予算(第1号)
補正予算	第35号 一般会計補正予算(第1号)

### 【令和4年6月定例会】

議案番号	議案名
条例関係	第36号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
	第37号 個人情報保護条例の一部改正
	第38号 市税条例等の一部改正
	第39号 妙高コミュニティセンター条例の制定
	第40号 介護保険条例の一部改正
	第41号 保健センター条例の一部改正
	第42号 国民健康保険税条例の一部改正
	第43号 市立学校設置条例等の一部改正
その他	第44号 廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正
	第45号 動産の取得について(ロータリ除雪車)
	第46号 動産の取得について(除雪ドーザ)
補正予算	第47号 指定管理者の指定について(妙高市テレワーク研修交流施設)
	第48号 一般会計補正予算(第2号)
	第49号 一般会計補正予算(第4号)
人事案件	第50号 簡易水道事業会計補正予算(第1号)
	第1号 人権擁護委員候補者推薦に対する意見について
意見書	第3号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書
	第4号 森林環境譲与税の譲与基準に関する意見書

### 賛否がわかれた議案

【令和4年6月定例会】	議案番号										議案名						結果	
	補正予算					第49号					一般会計補正予算(第3号)							
○は賛成 ●は反対 ※議長は採決 に加入しません	宮崎 淳一	渡部 道宏	天野 京子	太田 紀己代	丸山 政男	村越 洋一	小嶋 正彰	阿部 幸夫	岩崎 芳昭	堀川 義徳	八木 清美	横尾 祐子	関根 正明	高田 保則	植木 茂	宮澤 一照	霜鳥 榮之	結果
	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
反対討論	特定の大学のみへの支出(スポンサー料)は、他大学との均衡を欠くのではないか。地域の中でも問題視されている。																	
賛成討論	観光誘客推進事業は、妙高市の全国的な知名度を上げるために有効な手段であると考えます。																	
産業経済委員会 での審議の様子 (動画)										本会議での 討論の様子 (動画)								

常任委員会管内調査

常任委員会にて議案をじっくり審査

ここが聞きたい！一般質問

審議された議案と審議結果



## 令和3年度 妙高市議会政務活動費を交付

政務活動費は、議員の調査研究活動などに必要な経費の一部として、市から各議員に交付されるものです。各議員から提出された支出報告書には、政務活動の詳細及びその支出に対する領収書等が添付されています。支出報告書の写しについては、“市役所 1 階 コラボサロン”で公開しています。また、ホームページ上でも主な用途について公開しています。

### 政務活動費って何？

議会の活性化を図るためには、その審議能力を強化していくことが不可欠であり、議員の調査活動基盤の充実を図る観点から、地方自治法が改正され、政務調査費が交付できるようになりました。

その後、地方自治法の一部を改正する法律により政務調査費の名称を「政務活動費」に、交付目的を「議員の調査研究その他の活動に資するため」に改められました。

妙高市では、議員 1 人につき年間最大で180,000円の交付が条例により定められており、政務活動費支出報告書の提出により、調査活動後に交付(後払い)されます。

対象経費として、①調査研究費、②研修費、③広報費、④広聴費、⑤要請・陳情活動費、⑥会議費、⑦資料作成費、⑧資料購入費の8項目があります。

議員氏名	内 訳						交付額
	調査研究費	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	支出計	
1 宮崎 淳一	13,011	25,740			91,380	130,131	130,131
2 渡部 道宏				3,760	37,080	40,840	40,840
3 天野 京子	13,011	32,410			70,565	115,986	115,986
4 太田 紀己代		3,000	15,813		149,556	168,369	168,369
5 丸山 政男						0	0
6 村越 洋一	13,011	49,180			39,600	101,791	101,791
7 小嶋 正彰		3,000	15,813	39,318	55,920	114,051	114,051
8 阿部 幸夫		3,000	15,813		103,990	122,803	122,803
9 岩崎 芳昭		3,000	15,813		76,380	95,193	95,193
10 堀川 義徳					118,824	118,824	118,824
11 八木 清美	13,011	25,010			93,960	131,981	131,981
12 横尾 祐子					37,080	37,080	37,080
13 関根 正明	13,011				167,988	180,999	180,000
14 高田 保則				17,703	224,052	241,755	180,000
15 植木 茂		5,152	15,813	8,993	66,045	96,003	96,003
16 宮澤 一照						0	0
17 霜鳥 榮之					91,887	91,887	91,887
18 佐藤 栄一	13,011	20,360			160,684	194,055	180,000
小 計	78,066	169,852	79,065	69,774	1,584,991	1,981,748	1,904,939

※支出のない項目(広聴費、要請・陳情活動費、会議費)は省略しています。

# 議員表彰



6月定例会の開会の前に本会議場にて、永年勤続表彰状及び全国市議会議長会国会对策委員会副委員長感謝状の伝達が行われました。

写真左より、堀川義徳議員（在職10年）、八木清美議員（在職10年）、関根正明議員（議長在職4年）、植木茂議員（在職15年）の4名に全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から長年にわたり市政の発展に尽くした功績が称えられ、表彰状が贈られました。

また、関根正明前議長と写真右側の佐藤栄一議長に全国市議会議長会から国会对策委員会副委員長として会務運営にあたられたことに対する感謝状が贈られました。

授与された議員の皆様、大変おめでとうございます。

## 市内の小学生が議場見学に来てくれました。

5月6日に新井北小学校6年生が、6月13日に新井小学校3年生が、同月17日は斐太北小学校6年生が総合学習として議場見学に来てくれました。普段は入ることがない本会議場を見学しただけでなく、タイミングがよく議長室にも入ることができた学校もあり、子どもたちは議長席に座って体験していただきました。

写真は、斐太北小学校6年生が来たときの様子です。

今後も開かれた議会・寄り添う議会を目指す。指し、取り組んでいきます。

## 議場を活用

しませんか？

事務局までご

相談ください。



## 編集後記

それにしても暑い日が続きます。マスクを付けていることが一層暑く、息苦しい気分させます。涼しさを求めて一工夫したい毎日です。議会だよりをお届け致します。

6月議会では、各条例他、補正予算等じっくり審査を行いました。7月、常任委員会の管内調査の様子も掲載。気持ちも新たにタブレット端末も導入されます。

議会だよりは紙面を良くしていくだけではなく、文字に現れないその背景に、様々な協力が携わっていることに感謝の意を含めながら進めております。読者である市民の方々にも議員全員の思いが伝わるよう広報広聴委員一同、今後も精一杯努力致します。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

広報広聴委員

八木清美